

# ナースにしかできない！ 臨床栄養管理

2006年の診療報酬改定で栄養管理加算が導入されました。褥瘡、感染症、術後縫合不全など、臨床でしばしば直面する「病態」に栄養管理が効果を発揮すると認められた結果です。

そこで、NST(nutrition support team)活動に熱い視線が注がれていますが、栄養管理はもはや医師・栄養士・NST ナースのみの仕事ではなく、患者の最も近くでアセスメント&ケアできる臨床ナースに大きな期待が寄せられています。本特集で、臨床栄養管理における一般ナースの役割を明確にし、基本知識を身につけ、あなたの意識とモチベーションを高めてください。

## 臨床栄養管理における看護師の役割 ● ..... 110 ページ 《コラム・当院で NST が立ち上がるまで》

臨床栄養管理はすべての治療に先立つ大前提。そのために、一般看護師がいかに重要な役割を果たすのかを説明します。コラムでは、兵庫医科大学病院 NST 立ち上げの経緯とその特徴を紹介します。

医師はあなたに期待している！

## 臨床栄養管理は看護師主体でなければならない ● ..... 116 ページ

臨床栄養管理はチーム医療で行なうものです。そのなかで、なぜ一般看護師が主体となっていくべきかを論じます。看護師に期待している医師からのエールです。

## ナースにしかできない！ 臨床栄養管理のポイント ● ..... 121 ページ

《囲み記事・ナースにしかできない！ 摂食嚥下へのアプローチ》

《コラム・栄養管理の大切さを伝える勉強会》

一般看護師は、具体的にはどのように臨床栄養管理を進めていけばいいのでしょうか。必要となる知識と技術を具体的に概説します。囲み記事では、嚥下障害のある患者さんへの摂食方法の工夫、コラムでは兵庫医科大学病院 NST が主体となって企画している「阪神病態栄養研究会」の活動を紹介します。

## 一般ナース参加型！ 誌上 NST カンファレンス×2 事例 ● ..... 137 ページ

《コラム・NST カンファレンスに参加して》

兵庫医科大学病院の NST カンファレンスを誌面で完全再現！ 「褥瘡」「嚥下障害」「感染」などを抱え、栄養状態が改善しにくい患者さんの栄養管理計画を立てるまでの醍醐味を伝えます。なお、一般看護師も参加し、臨床栄養管理初心者代表して疑問を代弁。さらにコラムで感想を紹介します。